

あるべき税制委員会 80回 議事録 (2016年7月21日)

文責 森信茂樹

16年7月21日、森信と、一橋大学の佐藤主光教授から、東京財団の提言書である「税と社会保障のグランドデザインを」を説明し、自由討議しました。

主な意見は以下のとおりです。なお、提言書は、<http://www.tkfd.or.jp/> から入手できます。

- ・今の日本の経済の現状は、所得はそこそこ伸びていても、社会保障負担がそれ以上伸びており、可処分所得は逡減している。
- ・日本は、税・社会保障後の所得再分配が十分ではなく、ここに政策課題がある。これを正していけば、経済活性化効果も大きいはずだ。
- ・社会保険料を社会保険税にして、税額控除で緩和すれば、所得再分配機能は向上する。
- ・これからは、医療の保険料をどのように抑制していくかが問題だ。
- ・年齢別再分配から、能力別再分配へと変わるべきだ。
- ・番号はこれまで高所得者の所得把握に使うということだったが、今後は低所得者の給付が重要な政治的課題になるので、低所得者の正確な所得把握にも使う必要が出てくる。

以下の議事録本文は会員用メールマガジンで配信します。